

ロボットの活用について考える

コミュニケーション機能を有する人型ロボットなどに価値があると考えられる人も多いようですが、ロボットはあくまでも人の仕事を代替するツールだと考えられています。そのため、ロボットが人のどのような課題を解決するのかという価値が導入コストを上回らなければ、社会に広がっていくことはありません。

これからの日本においても、「ロボットならではの強みを活かして着実に働き、課題を解決するロボット」「ロボットを活用した、人とロボットの分業化」「労働力の最適化」等によって、労働力不足を解消することが求められます。

今回の講座では、ロボットを活用するために必要な技術や情報を理解しましょう。

社会人大学講座では、大学の講義と同様に、希望者には、講義ごとに課題に取り組んでいただきレポートを提出していただきます。そのレポートにより、担当教員が評価を行います(A・B・C評価)。ぜひチャレンジしてください。

※課題は、1日2講座の受講者が対象となります。

受講者 ロボットを活用することに興味・関心のある方。

参加費 1日2講座：1,000円(1講座のみの受講も可能) **定員(1講座)** 20名(先着順)

開催日時 第1回 10/27(火) 第2回 11/9(月) **会場** BiViキャン (BiVi藤枝1階)

開催日程 (第1回、第2回とも) 講座① 14:00~15:10 / 講座② 15:20~16:30 / 意見交換(自由参加) 16:30~17:00

第1回 (2講座) 10/27(火)

講座①

生活の場にロボットが進出するためには

静岡理工科大学 理工学部 講師 鹿内佳人

近年、様々なメディアでロボットを目にする機会が増えてきています。しかし、実際に社会で役立っているロボットを挙げると、一部のサービスロボットを除き、産業用ロボットに限られるのが現状である。このように、ロボットの活躍の場が工場内に限られる理由の一つとして、ロボットの移動自体がしっかりと確立していないことがあげられます。

今回、生活空間での自律移動を実現するための手法を説明するとともに、作業用ロボットの例として、講師がこれまでに取り組んできたロボットについて説明します。

講座②

ロボットと人工知能

静岡産業大学 情報学部 教授 佐野典秀

人間と機械の協調によって安全性や機能が確保されているシステムがあります。これらロボットを含むシステムにおいて操作しやすい人間-機械系の実現のために、マンマシンインターフェイスの開発・評価が行われてきています。人工知能などのサポートは人間に数多くの利点をもたらす半面、システムの安易な自動化は、人間に過大な負荷をかけ、人間-機械系を総合的に判断すると安全性が脅かされることがある事を調査、解析結果から紹介します。

第2回 (2講座) 11/9(月)

講座①

ロボット用モータの種類および制御技術

静岡理工科大学 理工学部 准教授 服部知美

自動車、家電製品、ロボットなど、幅広い分野で多数のモータが使用されています。ロボット分野では、主に、直流モータ、永久磁石同期モータが使用されています。これらのモータの特徴、制御方法について説明します。また、搭載上の問題から、小型・軽量で高効率なモータの要求が高まっています。モータの小型・高効率化技術の一例について紹介します。

講座②

ロボットの安全と認証

静岡理工科大学 理工学部 准教授 飛田和輝

従来、産業用ロボットは、柵に囲まれた空間で動作させることで、隔離の原則により安全を確保してきました。近年では、人の隣で協働、協調しながら働くロボットが増えてきました。人とロボットが共存する環境では必ずそこにリスクが生じます。今回、安全という言葉の意味、ロボットの安全に対する国際的な規格、取り組みについて紹介します。

※お申込 ①BiViキャンHP「新着情報」申込専用フォームから必要事項を記入して送信

②裏面の申込書にて、FAX、メール、郵送でお送りいただくか、藤枝BiViキャン受付にご持参ください。

裏面に
申込書あり

FAX送信 【054-639-7165】

【令和2年度 社会人大学講座 申込書】

※ご希望の講座に○印をお付けください。

【先着順】

参加希望		講座内容	実施日	申込期限
受講コース <small>(ご希望箇所に○をつけて下さい)</small> <small>※評価・修了証は、1日2講座受講者が対象となります。</small>	<input type="checkbox"/>	生活の場にロボットが進出するためには	10月27日(火)	10月20日(火)
	<input type="checkbox"/>	ロボットと人工知能		
	<input type="checkbox"/>	ロボット用モータの種類および制御技術	11月 9日(月)	11月 2日(月)
	<input type="checkbox"/>	ロボットの安全と認証		
フリガナ				
お名前			性別	男 ・ 女
年代		<input type="checkbox"/> 10代 <input type="checkbox"/> 20代 <input type="checkbox"/> 30代 <input type="checkbox"/> 40代 <input type="checkbox"/> 50代 <input type="checkbox"/> 60代以上		
ご職業		<input type="checkbox"/> 会社員・団体職員 <input type="checkbox"/> 会社経営・自営業 <input type="checkbox"/> 公務員 <input type="checkbox"/> 主婦 <input type="checkbox"/> 学生 <input type="checkbox"/> その他 () <input type="checkbox"/> 静岡産業大学 (学生・教職員) <input type="checkbox"/> 静岡理工科大学 (学生・教職員)		
連絡先等	ご住所	〒		
	会社名			
	電話番号			
	メールアドレス	@		
この講座を何で知りましたか?		<input type="checkbox"/> 大学からの案内・HP <input type="checkbox"/> 商工会議所・商工会 <input type="checkbox"/> 地域交流センター・図書館 <input type="checkbox"/> BiVi キャン <input type="checkbox"/> 職域・知人紹介 <input type="checkbox"/> 広報ふじえだ・むるぶ <input type="checkbox"/> その他 ()		

※記載いただいた情報については、本講座関連以外には使用しません。

お問い合わせ
連絡先

静岡産業大学 BiViキャン 社会人大学講座係 〒426-0067 藤枝市前島1丁目7-10

TEL/054-639-7164 FAX/054-639-7165

- ①静岡産業大学・BiViキャンHP「新着情報」申込専用フォームから必要事項を記入して送信
- ②裏面の申込書にて、FAX、メール、郵送でお送りいただくか、藤枝BiViキャン受付にご持参ください。